

モニターアームロング(EEX-TVKA012)組立説明書

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の内容で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

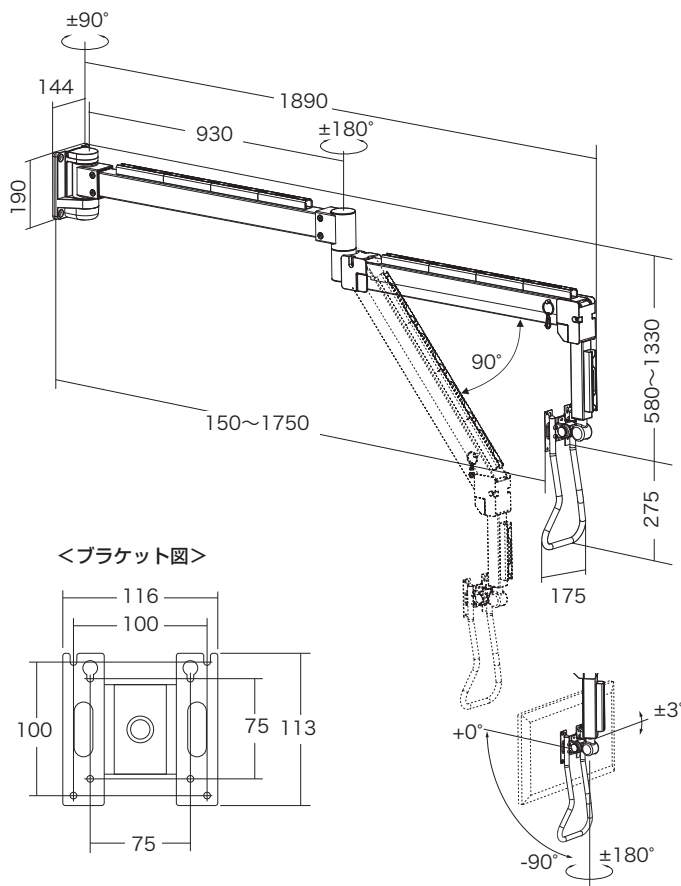
必ずお守りください

本製品の取付けには特別な技術が必要です。
必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に壁面を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方を決めて取付けてください。
- 作業は必ず大人二人以上で行ってください。
- 組立説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面にネジ穴、アンカーが残ります。ご了承ください。
- モニターを長期間設置しますと、モニターの熱や空気の流れて壁面が変色することがあります。ご了承ください。

32型以下で重量8kg以下のモニター専用です。



<ブラケット図>

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの> 手袋(組立て時のケガ等を防ぐ為に必ず着用してください)、電動ドリル、プラスドライバー、水準器、12mmのドリルの刃、鉛筆

Ver.1.0

安全上のご注意 (必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- ⊘ この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。
- ❗ この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。
- ⚠ この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

■ 取付け場所について

⚠ 警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ⊘ 強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のある場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ エアコンの近くやホコリの多い場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 通風孔をふさぐような場所や、天井には取付けしないでください。火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 壁面はモニターと本製品を合わせた以上の荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。芯材がない場所では強度が足りず、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。
- ⚠ 壁面にはモニターと本製品を合わせた重量の4倍の力に耐える強度が必要です。

⚠ 注意 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- ❗ 各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、最適な取付け方を決めて工事してください。
- ⚠ 本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。
- ⚠ 鉄柱や鉄骨には取付けできません。

■ 取付け方法について

⚠ 警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

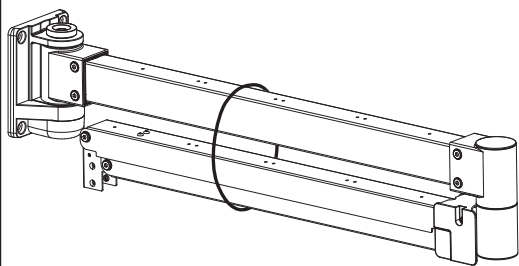
- ⊘ 33型以上、重量8.1kg以上のモニターを取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 専門の取付け工事業者以外には取付け工事を行わないでください。工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 取付け作業中はモニターや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。破損、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⚠ 部品やモニターに手や指などを挟まないようご注意ください。

■ 取付け後のご使用について

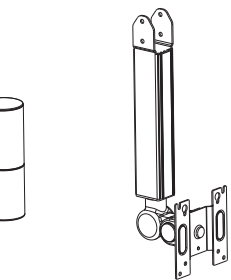
⚠ 警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ⊘ ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ ぶら下がったり、コードを引っ張るなど、荷重をかけないでください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ ボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。不用意に行くと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ 異常が発生した時は電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。そのまま使用すると、落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ❗ お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

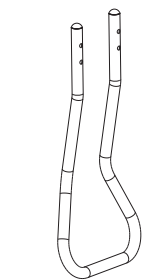
組立て部品



①モニターアームA×1個



②ブラケットアームB×1個



③ハンドルC×1個



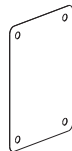
④カバーD×1個



⑤ケーブルカバーE
×9個



⑥カバーF×1個



⑦テンプレートG
×1枚



⑧キャップH×4個



⑫六角レンチL
(4mm) ×1本



⑬六角レンチM
(5mm) ×1本

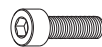


⑭六角レンチN
(6mm) ×1本



⑮スパナO×1本

<使用ボルト>



⑨ボルトI×4本



⑩ボルトJ×20本 (M5×6)



⑪ボルトK×4本 (M6×10)

モニター取付用部品

※各種モニターに適合するボルト等
をご利用ください。



⑯ボルトM-A×4本 (M4×12)



⑰ボルトM-B×4本 (M5×12)



⑱ワッシャーM-C×4枚

モニターアーム取付用部品



⑲ボルトW-A×4本



⑳アンカーW-B×4本



㉑ワッシャーW-C×4枚

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-TVKA012)と上記の部品番号(①~⑳)と部品名(ワッシャーM-Fなど)をお知らせください。

取付けの前に



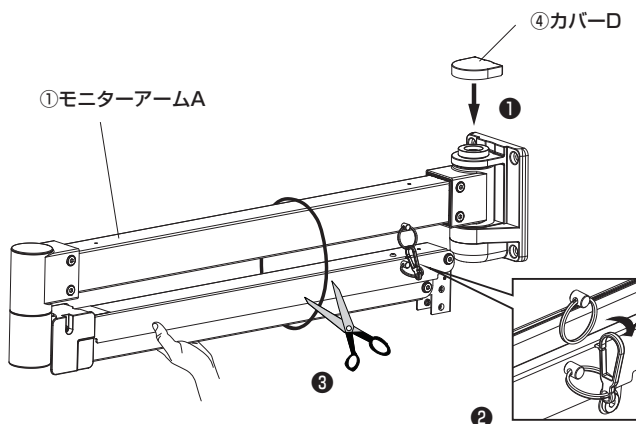
アンテナや周辺機器との接続に必要なコード類は長さや配線方法を事前に計画・準備してください。取付けた後からでは、モニターの形状や取付け位置によって、接続や配線が困難な場合があります。



各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。本書に記載してある取付け方法を参考にして、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて工事してください。

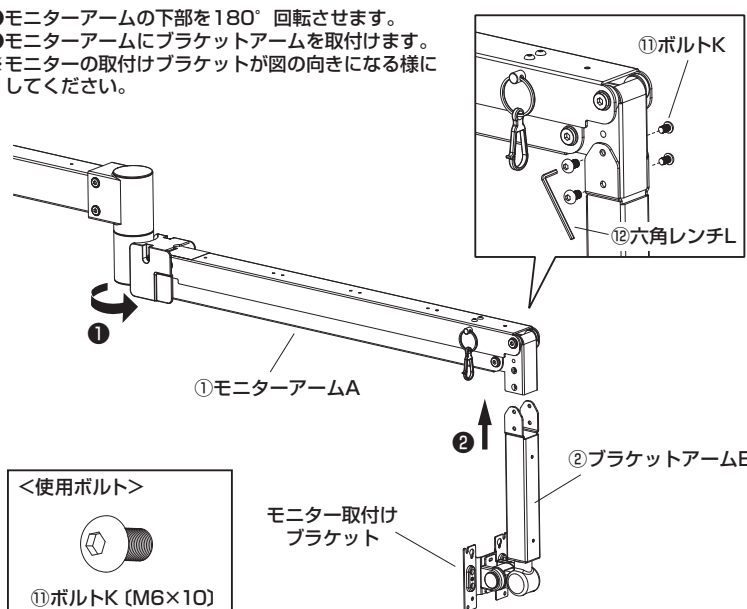
1. モニターアームにカバーを取付けてから展開します。

- ①モニターアームにカバーを取付けます。
- ②カラビナフックを外します。
- ③輸送用のベルトを切断します。

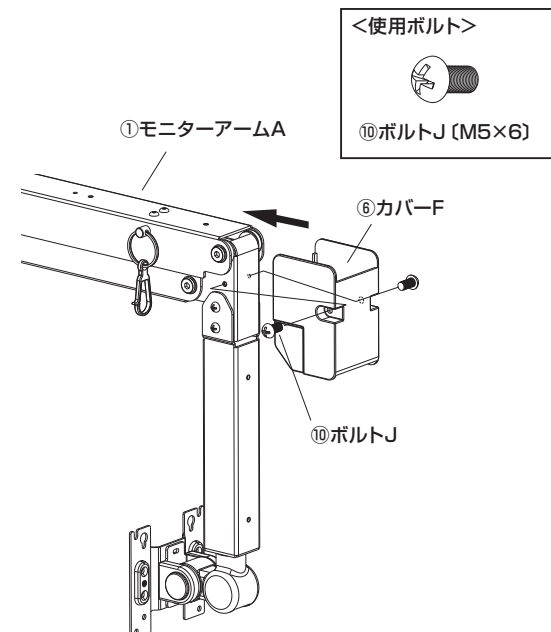


2. モニターアームにブラケットアームを取付けます。

- ①モニターアームの下部を180°回転させます。
- ②モニターアームにブラケットアームを取付けます。
※モニターの取付けブラケットが図の向きになる様にしてください。



3. モニターアームにカバーを取付けます。



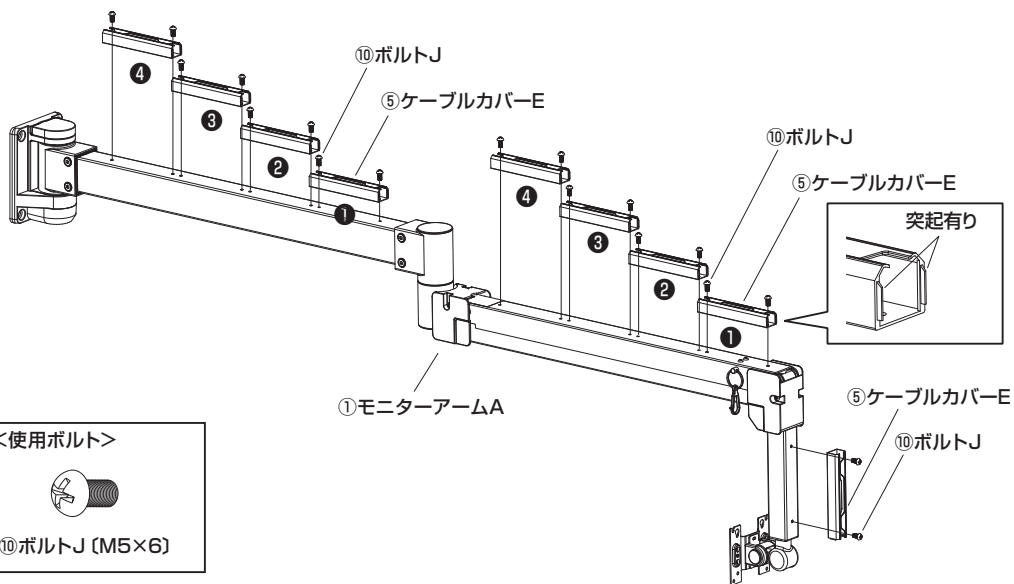
<使用ボルト>



⑩ボルトJ (M5×6)

4. モニターアームにケーブルカバーを取付けます。

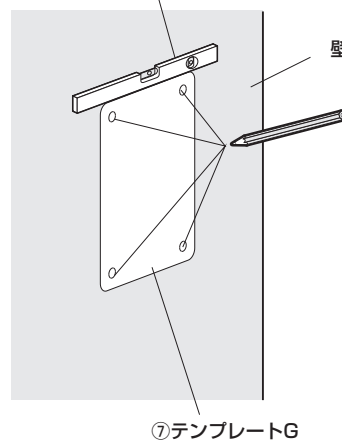
※図の向きで順番に連結するように取付けます。



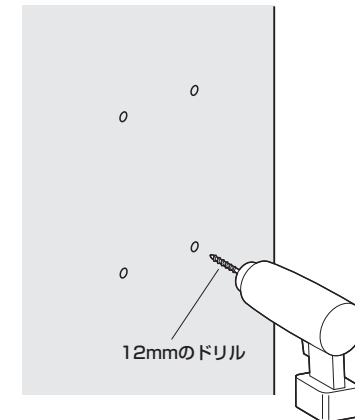
5. モニターアームを壁面に取付けます。 ※必ずコンクリートの壁に取付けてください。壁面はモニターと本製品を合わせた重量以上の荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

①テンプレートを設置する壁に当てて、取付けの穴を開ける位置4ヶ所に印をつけます。

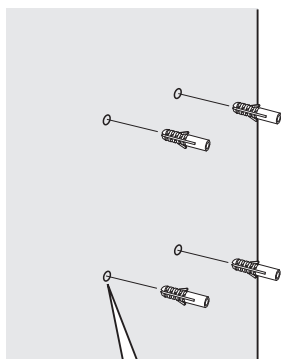
※水準器で水平垂直を確認して位置を決めてください。



②ドリルを使い壁に印をつけた4ヶ所に直径12mm、深さ約95mmの下穴をあけます。



③下穴にアンカー-W-Bを差し込みます。



横から見た断面図

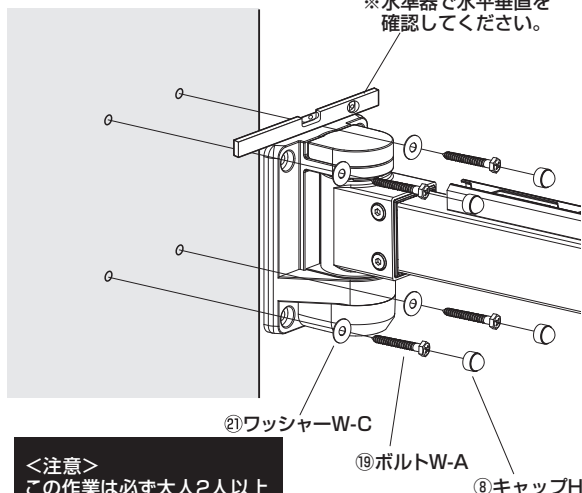
壁内部

⑳アンカー-W-B

※アンカー-W-Bは全て穴に入るように奥まで押し込みます。

④ボルトW-Aで取付けます。

⑤ボルトW-Aにキャップをかぶせます。



※水準器で水平垂直を確認してください。

①ワッシャー-W-C
②ボルトW-A
③キャップH

6. モニターにボルトを取付けます。

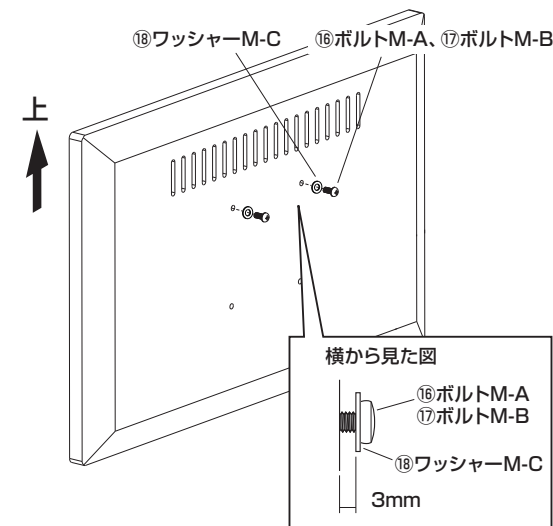
<注意>
毛布などを下に敷き、モニターへの傷や破損に十分ご注意ください。

<注意>
モニターに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はモニターの取扱説明書をご参照ください。

<注意>
※モニターの取付け穴の深さがボルトの先端が当たらない深さになっていることを確認してから締付けてください。

<注意>
ボルトが長すぎるとモニターを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明や、メーカーへの問い合わせなどをご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。本製品に取付け可能なボルトはM4とM5のみです。M5より大きいボルトは取付けることができません。

※モニターの上側に2本のボルトを、3mmのすき間を残して取付けます。



横から見た図

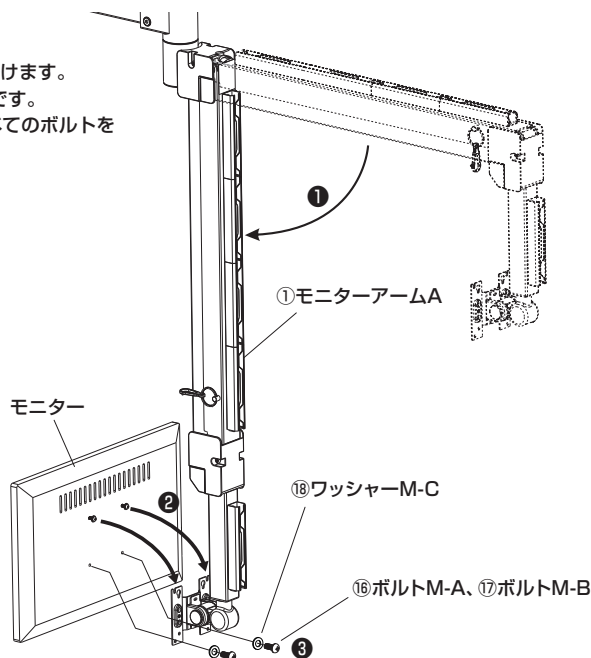
①ボルトM-A
②ボルトM-B

③ワッシャー-M-C

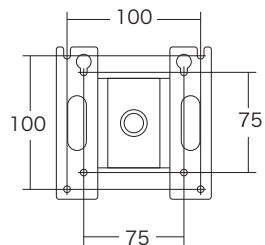
3mm

7. モニターアームにモニターを取付けます。

- ①モニターアームを下げます。
- ②ブラケットにモニターに取付けたボルトを引っ掛けます。
※VESA取付け穴ピッチは100×100と75×75です。
- ③ボルトM-A、M-Bを下側の穴に取付けて、4本すべてのボルトを締めます。



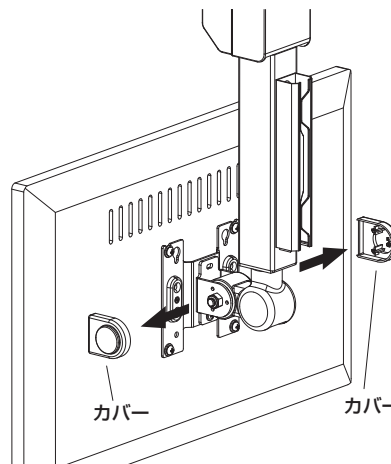
モニター取付けブラケット図



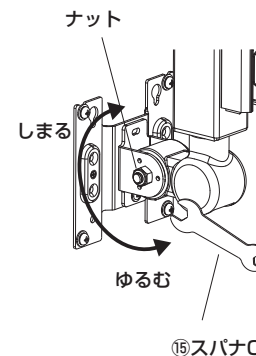
8. モニターの動きを調節します。

- ※モニターを取付けた時に、モニターの角度が斜めになるなど、垂直を保つことが出来ない場合は、ナットを締めて調節します。
※自由に動くように締め過ぎないようにしてください。

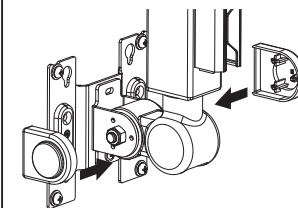
- ①カバーを外します。



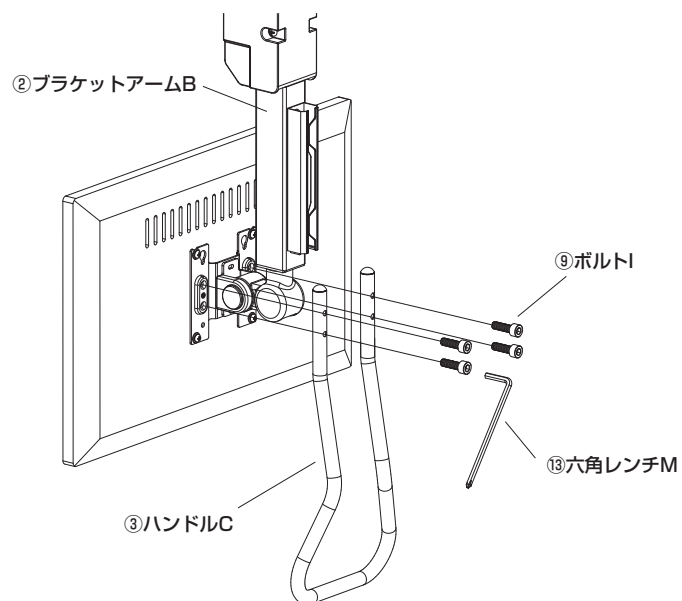
- ②スパナOでナットを締めて
固さを調節します。



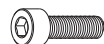
- ③カバーを取付けます。



9. ブラケットアームにハンドルを取付けます。



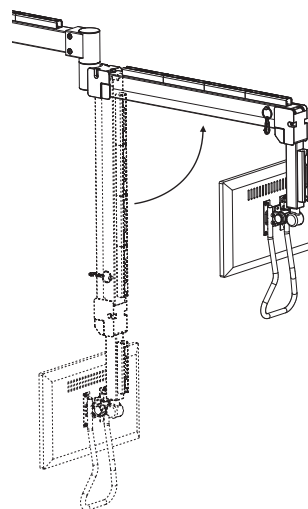
<使用ボルト>



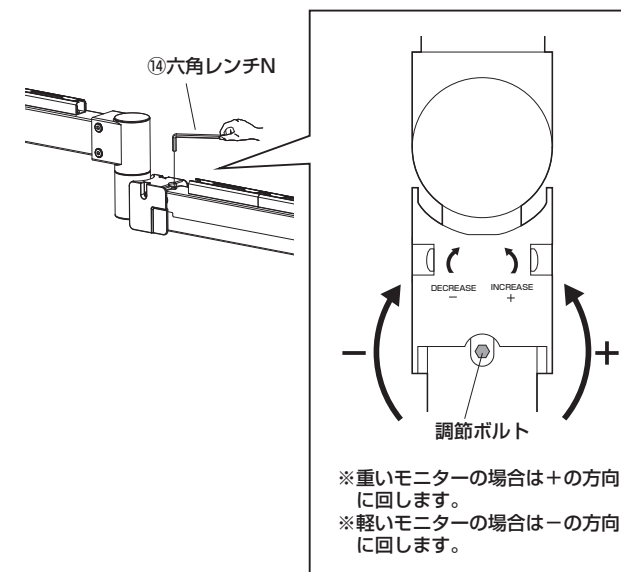
⑨ボルトI

10. モニターアームの角度が自由になるように調節します。

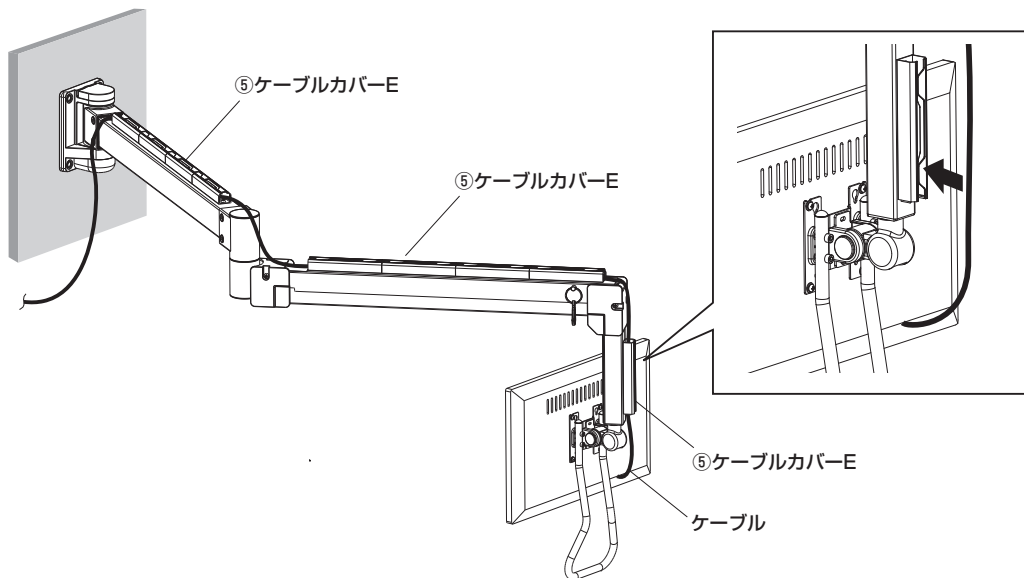
- ①モニターアームを持ち上げます。



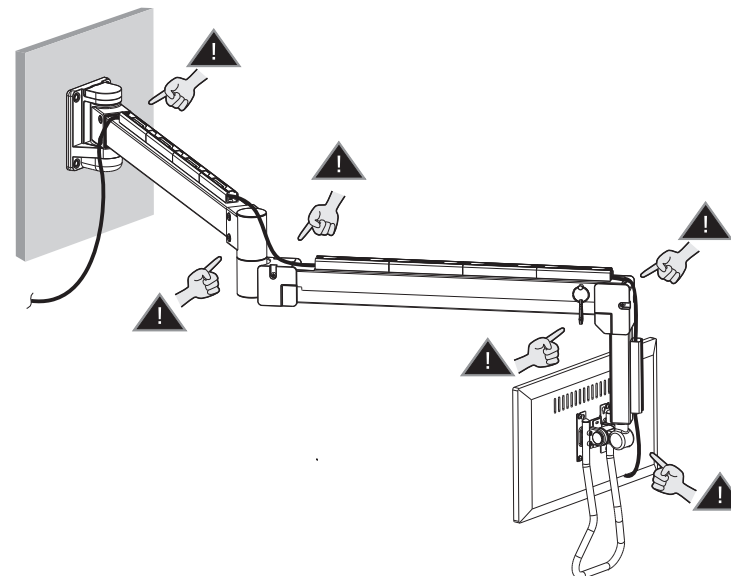
- ②モニターが自由な位置で止まるように調節します。



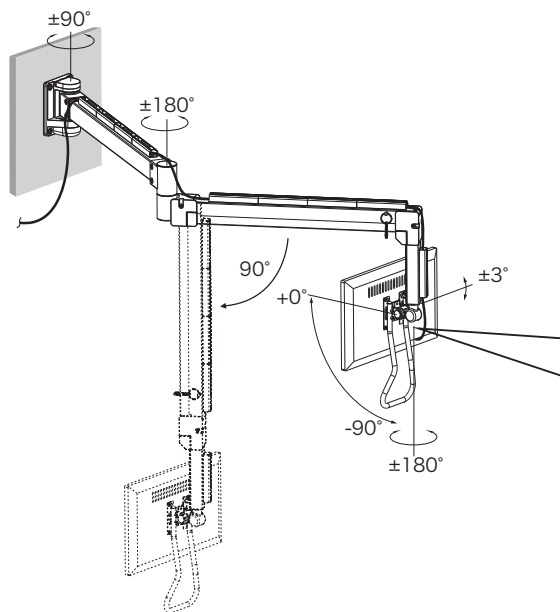
11. ケーブルをケーブルカバーに通して完成です。



可動部分で指などははさまない様に注意してください。

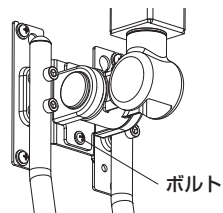


各部の角度調節、及び可動範囲



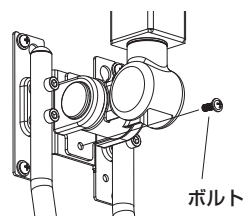
モニターの左右の傾きを調節する場合

- ① ブラケットのボルトをゆるめます。
- ② 角度を調節します。
- ③ ボルトを締めて固定します。



モニターの上下を反転する場合

- ① ブラケットのボルトを外します。
- ② モニターを180°回転します。
※ハンドルも一緒に反転します。
- ③ ボルトを取付けて固定します。



使用上のご注意

- 必ずコンクリートの壁に取付けてください。壁面はモニターと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。
- 可動部分で指などははさまない様に注意してください。
- 8kgを超える機器は取付けしないでください。
- 本製品にお子様などがぶら下がらないように注意してください。
- 本製品に物を引っ掛けたり、吊り下げたりしないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お問い合わせの販売店までお気軽にご相談ください。

CA/AE/KT06C